

アダン (2005)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記 アート

製作国 日本

色彩 Color

時間 139分

初公開日 2006/05/20

公開情報 東京テアトル

【キャッチコピー】

生きた。描いた。

孤高の画家――田中一村。南の島に燃えつきた、69年の生涯。

【解説】

幼い頃から天才と期待されながら画壇と距離を置き、自ら信じる道を突き進んだ孤高の日本画家、田中一村の生涯をモデルにフィクションとして映画化した伝記ドラマ。後半生を奄美大島で過ごし、終生を芸術と格闘し続けた一人の男の壮絶な生き様を描く。監督は「地雷を踏んだらサヨウナラ」「HAZAN」の五十嵐匠。主演は、実在の芸術家を描いた「HAZAN」に続いて五十嵐監督とのコラボとなった榎木孝明。タイトルの“アダン”とは、一村が好んでモチーフにしたパイナップルのような大きな実が特徴の南国特有の植物。

昭和22年。田中一村、39歳。困窮をきわめる生活の中、一心不乱に絵に打ち込む一村。そんな弟の才能を誰よりも信じ、懸命に支え続ける姉、喜美子。そして初めて公募展に出品した『白い花』の入選に引き続き、第十五回北斗展に、自信作『秋晴れ』を出品した一村。しかし落選を知ると、一村は周囲の目もはばからず、主宰の山上北斗に激しく詰め寄るのだった。その後も、公募展への出品を続ける一村だったが、ことごとく落選を繰り返してしまう…。

【クレジット】

監督	五十嵐匠
総合プロデューサー	水野清
脚本	松山善三
撮影	堀田泰寛
美術	藤原慎二
音楽	安川午朗
総指揮	吉田嘉明
照明	山川英明
出演	榎木孝明 田中一村
	古手川祐子 田中喜美子
	木村文乃 アダン
	村田雄浩 荒木泰雲
	加藤剛 住友先生
	中村嘉葎雄 山上北斗
	犬塚弘 画商
	不破万作 和光園園長
	笹野高史 織物工場主

